

# ATTENTION（使用上の注意）

## ユリア（UF）

- ・ホルムアルデヒドを含んでおりますので、乳幼児の製品には使用しないでください。
- ・浸け置き洗い等、長時間水に浸けておくことは、割れや欠けが発生する原因になります。
- ・後染めによる色付け（染色）はできません。
- ・2次加工品は、素材や加工方法によって仕上がり具合にバラつきが生じます。

## ポリエステル（UP）

- ・染色が可能ですが、染色後は必ず色止め（還元洗浄）を行ってください。未処理品はホットプレスやクリーニングで色落ちする恐れがあります。
- ・時間が経つにつれて黄変していきますので、製造時期により色が異なります。

## アクリル（PMMA）

- ・染色が可能ですが、染色後は必ず色止め（還元洗浄）を行ってください。未処理品はホットプレスやクリーニングで色落ちする恐れがあります。熱に弱い素材のため、高温および高熱の処理は避けてください。

## メタル（MB/MD）

- ・本革やウールなどの獣毛・麻等の天然素材を漂白された製品にご使用の際、また高温多湿での保管に際しまして、変色や錆びが生じる恐れがありますのでクリアー加工をご指定下さい。また、クリアー加工後はクリーニングの溶剤（パークロ系）でクリアー塗装の膜が剥がれますので石油系ドライをご指定下さい。海外輸送の際にも輸送中の悪条件が予想されますので、クリアー加工をお勧めいたします。
- ・漂白剤（特に塩素系）をご使用されますと、錆びる危険性がありますので洗濯表示につきましては、必ず「塩素サラシ不可」を表示ください。

## 貝ボタン（SH）

- ・素材の特性上、色合いやパール輝き方に個体差があり、形状や厚みにも若干のバラつきがございます。
- ・貝ボタンは割れやすい素材です。プレスの際はボタンを避けて行ってください。また、搬送中の衝撃でも割れてしまう場合がございますので、お取り扱いには十分ご注意ください。
- ・縫製後に製品加工をされる場合、ボタンは必ず後から付けてください。

## 革ボタン（LE）

- ・革ボタン / 革バックルの材料となる原皮にはそれぞれ個体差があるため、形状にバラつきがあります。天然の素材ゆえの特徴とご理解下さい。
- ・原皮を染めたもの、塗装を施したものの、どちらも水や高温には弱く、ホットプレスやタンブラー乾燥を行いますと、表面のひび割れ、剥離、変形、他の生地への移染の原因となりますので避けて下さい。
- ・また、クリーニングの際にはボタン/バックルを外すか保護をした上で、必ず石油系ドライをご指定下さい。
- ・製品加工を行う場合はボタンの取り付けを製品加工の後で行って下さい。表面のひび割れ、剥離、変形、他の生地への移染の原因となります。
- ・ここに掲載しました全ての革ボタン/革バックルには色止処理を行っておりますが、材料の質によってはその効果が低く、色落ちや移染の危険性がありますので、生産に入る前に十分なテストを行いご確認ください。また配色によるご使用にも同様の危険性がありますので避けて下さい。

## 水牛ボタン（HO）

- ・水牛ボタンは素材の構造上、個体差があり、同一ロットの中でも色や柄、ツヤの加減が異なります。本物特有の持ち味とご理解下さい。
- ・生産工程の上で微妙に形状が異なり、板ものに関しましてはゆがみが生じる場合があります。
- ・水牛ボタンは熱や水に弱い素材です。ホットプレスやタンブラー乾燥、水洗い等をされますと油脂分が失われ、ツヤ落ちや割れ、白濁、変形等の原因となりますので、行わないで下さい。
- ・クリーニング等の際は製品から取り外すか水牛を保護して石油系ドライにて行って下さい。
- ・縫製後に製品加工をされる場合、ボタンは必ず後から付けて下さい。